



丹波市立吉見小学校だより

吉見っ子

令和4年
8月号



<http://www.tamba.ed.jp/site/yoshimi/>

金管ミニコンサート

市島川裾祭のステージイベントが中止となったため、7月21日に、5・6年生のデビューの機会として、本校の体育館においてミニコンサートを実施しました。多くの参観者の中で子どもたちは、これまでに練習してきた曲を体育館いっぱいに響かせました。

はじめは少し緊張しているようにも感じましたが、徐々にいつもの音が鳴り響きました。2学期には、運動会や音楽会で演奏する予定です。



吉見っ子の成長～1学期終業式より～

校長先生が、それぞれの学年のがんばりを話されました。どんなときもコツコツと努力を続けたから成長できたと思います。3か月の間に見られた成長を紹介します。

<1年生>とても元気に過ごしました。重そうだったランドセルにも慣れ、遠い道のりもしっかりと歩けるようになりました。ひらがなを勉強し、今では連絡帳も自分で書けるようになりました。算数では足し算や引き算を素早くできるように練習できました。毎朝の朝顔の水やりも忘れずにし、たくさんのあざやかな花が咲きました。学校生活にも慣れお友だちとも仲良くできました。

<2年生>1年生を迎えてから、お兄さんやお姉さんとして1学期を過ごしました。教室へ行くたびに、発表の声が大きくなり、2年生らしい元気さを感じるようになりました。また、国語や算数の勉強では、黒板の字を先生と同じ速さで書けるようになっていて驚きました。一人ひとりが自分の意見を発表できるようにもなりました。

<3年生>どんな時も自分で勉強をがんばろうとする姿が多く見られるようになりました。鴨庄川の観察では、みんなでルールを守って活動できたり、田植えではおしまいまで活動できたりしました。ミスや失敗をそのままにしておかず、嫌な気持ちの時でも行動し、自分が変わっていかこうとする姿に成長を感じました。

<4年生>リーダーとしての一步を踏み出しました。高学年として勉強に向かう意識が高まりました。勉強は、4年生でぐっと難しくなるのですが、できなくてくやしい気持ちを感じても、やり続ける姿勢が見られました。また、自習の時間は、全員がひとこともおしゃべりせず黙々と勉強できる姿に感心しました。

<5年生>金管バンドがスタートして、友だちと気持ちよくつながる力を伸ばしました。昼休みのロングトーンの練習では、何人か集まると、自分たちで音を合わせていました。自分のことだけではなく、友だちのことも考えている子が多いので自然とそうなるんだと感心しました。金管を通じて、自分を振り返る力や最後までやり抜く力も育ってきました。

<6年生>どんどん活力が出てきて、一人ひとりが輝いてきました。4月は最高学年になったことへの不安やプレッシャーがあったと思いますが、「光の方」を意識し、行動したからだと思います。金管バンドでは、上手に5年生をリードしていました。まさにリーダーとしての思いやりを感じる姿でした。今後はさらに、学校のリーダーとして、地域の一員として自分がどうあるべきかを考えられるようになることを期待しています。

市島地域小規模ネットワーク事業(情報モラル オンライン授業)

市島地域の5小学校をオンラインでつなぎ、鳥取県情報モラルエドゥケーターの^{いまだたまみ}今度珠美先生に情報モラルに関する講演をしていただきました。

メディアコントロールについて、それぞれの学年に応じた話や、子どもたち自身が自分の生活を振り返る授業をしていただきました。

メディアには、デジタルメディアと教科書や新聞、雑誌などの活字メディアがあり、メディアを使うときには、バランスを考えながら使うことが大切です。自分の使い方がどうかを常に振り返り、これからもバランスよく使ってほしいと願っています。

